

# 高度な処置と搬送 高規格救急車が寄贈されました

問い合わせ 消防署 ☎0119

消防署に、J A 共済連合会広島県本部から高規格救急車が寄贈されました。この救急車は、救急救命士が救急救命処置を行うための、高度な機材を多数装備しています。また、室内が広く、救命活動が行いやすくなっています。



乗車定員	7名
排気量	2,690cc
全長	5,620mm
全幅	1,890mm
全高	2,590mm
車両重量	3,205kg
最高出力	152ps/4800rpm

## 装備4



**AED**  
ガイドライン2010に対応したAED（自動体外式除細動器）で、小児と成人それぞれのモードが切り替え可能です。

## 装備3



**12誘導心電図**  
合わせて12種類の波形を記録する心電図装置で、より詳しい心電図波形を確認することができます。

## 装備5



**後部の大きな手すり**  
車両後部に大きな手すりが付いており、高齢者などの乗り降りがしやすくなっています。

## 装備6



**防振ベッド**  
空気バネで上下・水平方向の振動を吸収し、車両走行中の振動を抑え、患者への負担を軽減します。

## 装備2



**EVACチェア**  
椅子の足の部分に特殊なゴムベルトが付いており、階段などの段差でも、安全に傷病者を搬送することができます。

## 装備1



**LED作業灯**  
省電力で明るいLEDを使った作業灯で、トンネル内や夜間などの暗い場所でも、安全に作業を行うことができます。

## 高規格救急車の贈呈式が行われました



レプリカキーの贈呈

7月2日、J A 共済連合会広島県本部から市消防への高規格救急車の贈呈式が、消防署で行われました。

当日はJ A 共済連合会広島県本部や市から多くの出席者があり、佐伯中央農業協同組合の忠末代表理事組合長から、市消防本部の賀屋消防長にレプリカキーが贈呈されました。その後、この高規格救急車の新しい装備の紹介が行われ、出席者は熱心に説明を聞いていました。